

認定こども園せんだい幼稚園 園長 田原 慎也
[http://www.s-kinder.com /index.html](http://www.s-kinder.com/index.html)

●7月・8月のひとコマ



<2歳児：自然に手を繋いで>



<年少児：虫はどこかな>



<年中児：イメージを共有して>



<年長児：かぶと虫がいない!>



<職員：園内研修>

テーマ：保育者の工夫と子どもの育ち

2学期がスタートします!

今日から2学期の始まりです。例年であれば、県外にいるおじいちゃん・おばあちゃんの家遊びに行ったり、家族で遠出をしたりという夏休みを、今年は自宅でゆっくりと過ごされた方も多かったかと思います。さまざまなイベントが中止や延期になるなど、体験の場が少なくなっている子どもたちですが、園生活の中では身体をたくさん動かし、たくさんのワクワクする出来事やモノに出会えるよう取り組んでいきたいと思っています。2学期もどうぞよろしくお願い致します。

世界は急速にVUCA(ブーカ)が進んでいく。VUCAという言葉が初めて聞いたのは3年ほど前、園外研修の場でした。VUCAとはVolatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字をとった言葉です。急速な技術発展や自然災害など、社会の変化は一層に予測しづらいものになっています。教育もそういった「世の中の変化に柔軟に対応し得る力」を養ってけるものとなるよう、指針が改訂されています。

VUCAな世界は決して遠い未来の話ではないと気づかされたのが、まさに新型コロナウイルスによる今の状況です。コロナ禍によって、社会の状況は一変しました。今まで当たり前に行っていたことができなくなる、それに伴い産業も大きく変化しています。お店にお客さんをお呼びすることが難しくなっているからテイクアウトやデリバリーなどの新しい手法を取り入れる、インターネットを活用してオンライン販売をするなど、状況にうまく適応していく力が今まさに求められています。

幼稚園業界でも今までは集合して・対面して行っていたイベントが軒並みオンラインでの開催にシフトして行っています。年を重ねるにつれて、なかなか上がらなくなる重たい腰をなんとか上げて、常に学び直し、新たなものを受け入れ、自らが変化に対応していかなければならないことを実感しています。

保育者・教師が決めたことにただ従うような、決められたことをこなすだけの教育ではVUCAな世界を切り開くことは困難です。認知的でルーティーンのワークは機械が担い始めています。新たな価値を生み出すためには、想像し、創造する力、まさに子どもたちが自ら考えたり、アイデアを出し合ったりして、主体的に遊ぶ姿から「世の中に変化を起こす力を持つ主体」としての育ちは育まれていくのだと信じています。